

編修趣意書

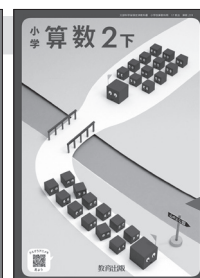
(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-137	小学校	算数	算数	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 218 算数 219	小学算数2上 小学算数2下		

1 編修の基本方針

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



社会が急速に変化し、将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちには、主体的に学び、社会と関わり、他者と協力しながら、自ら未来を創り出していく力を育成することが求められます。

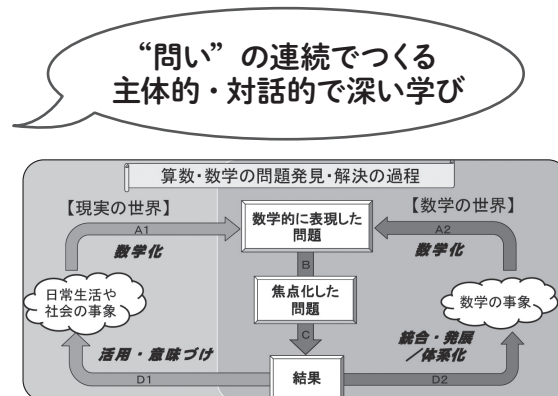
生涯にわたってつづく学びの原点となる小学校教育では、自ら考えて「わかった・できた」を実感する喜びや、友だちと一緒に問題を解決する充実感、学びと学びがつながり深まったときの感動を味わわせ、次の学びへと向かっていく力にしていきたいと考えます。

本書では、教育基本法が示す教育の目標の実現に向けて、次の基本方針のもとに編修にあたりました。

問いつづけ、よりよいものを求めて 改善しつづける子どもを育てる



▲「はてな? →なるほど! →だったら!」で進める学びの過程



▲算数・数学の問題発見・解決の過程 (文部科学省)

特色

1

学びに向かう力、人間性等の涵養

問題発見力・解決力・追究力を育てる教科書

特色

2

思考力・判断力・表現力の育成

見方・考え方を働かせて学び合う教科書

特色

3

生きて働く知識・技能の習得

学びをつないで確かな学力を育てる教科書

1

子どもの^{はてな}「？」からめあてをつくり、主体的・対話的な学びをとおして“問い^{？？}”を深め、^{なるほど}「！」を見だし、さらに、新たな“問い^{だったら}「！？」”へとつなげる構成にしました。未来を創り出していくのは、“問いをもつ力”です。

▲上p.19～21

▶ 上p.30 ~ 31

[illegible]

單元 3 問題追究力モデル

2

算数がすきになる
はじめての一步!

▲上p.7 ~ 9

3

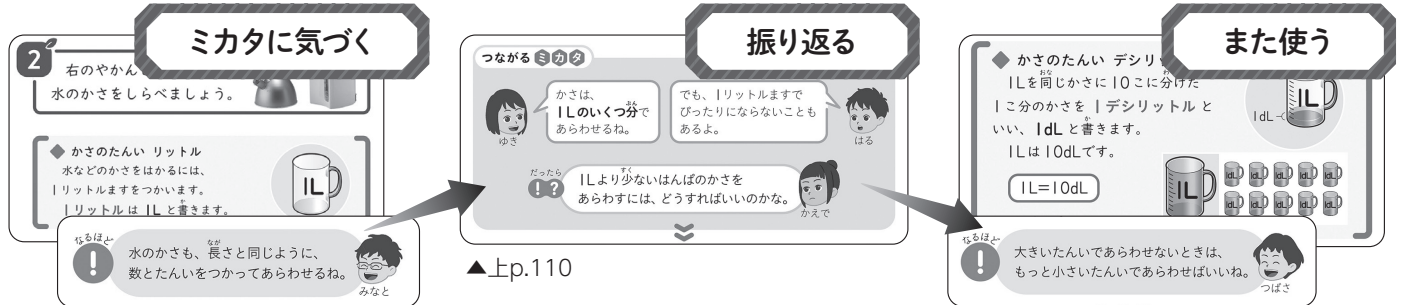
▲上p.18

3つの数の計算を、筆算ですることも
あります。

50	
30	
+ 17	
97	

1 見方・考え方がつながると、算数が得意になる！

単元の前半で見いだした数学的な見方・考え方を「つながるミカタ」で顕在化し、後半の学習で自ら活用していく構成にしました。見方・考え方の働きを実感し、学びが深まります。

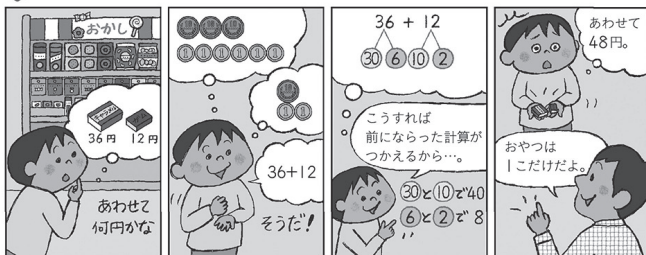


学習指導要領との対照表 p.2
“見方・考え方のつながり”

2 単元を中心となる見方・考え方を心に残す！

単元末の「4コマ漫画」で、学んだことのよさや見方・考え方を、楽しく振り返れるようにしました。領域を貫く見方・考え方が心に残るから、学年を超えて、次の問題解決に生かせるようになります。

2けたの数のたし算では、どんな考え方をしたかな。



▲上p.32

長さには、どんなたいいがあったかな。



▲上p.59

3 算数のよさを実感しながら、読解力・表現力を育てる！

単元末では、算数を見つけたり、算数を使って日常の問題を解決したりする活動「学んだことをつかおう」を設けました。学年末では、全国学力・学習状況調査をふまえ、学習したことを総合的に活用する問題「算数をつかって考えよう」を設けました。算数の学習と日常の場面をつなげて、「わかる・できる」から「使える」学力に高めます。

単元末の活用問題

学んだことをつかおう！
わたしたちの学習のよさを、
グラフや表でつかおう！

2年生
学級しようかいをしよう！

1 グラフや表をつかって、学級のどんなことを
しょうかいしたいか、話し合いましょう。

しょうかいしたいこと
○好きな食べ物
○みんなの生まれた月
○好きなあそび

2 2年生では、下のようなポスターを作ります。
どんなことがわかるでしょう？

2年生しようかい

好きな食べ物
生まれた月
好きなあそび

はっけんりみのまわりの長さ

10cm 20cm 30cm 40cm 50cm 60cm 70cm 80cm 90cm 100cm

▲上p.15

▲上p.58

算数をつかって考えよう

みなさんは毎日、つこつとお手つだいをすることにしました。

1 みなさんは、毎日、つこつとお手つだいをすることにしました。

かんたんなことでも
いいから、毎日
つづけよう。

みなさんは、日曜日から金曜日までのお手つだいの
回数、グラフにあらわしました。

はじめるはじめる
やっただけ、だんだん
回数が増えてきたね。

お手つだいの回数

日 月 火 水 木 金 土

▲下p.102～103

学年末の活用問題

1 お手つだいの回数がいかに多かった日と、いかに
少なかった日とを、何回か比べてみましょう。

2 みなさんは、土曜日に、金曜日の4倍の回数
のお手つだいをしました。
何回お手つだいをすればいいでしょう？

3 みなさんは、1のまんだいでしらべた
グラフを見て、1週間のお手つだいの
回数について考えています。

4 日曜日から金曜日までの○の数のもとめ方を、
図や表をつかってせつめいしましょう。

5 1週間のお手つだいの
回数を、グラフにあらわそう。

6 1週間のお手つだいの
回数を、グラフにあらわそう。

7 1週間のお手つだいの
回数を、グラフにあらわそう。

8 1週間のお手つだいの
回数を、グラフにあらわそう。

9 1週間のお手つだいの
回数を、グラフにあらわそう。

10 1週間のお手つだいの
回数を、グラフにあらわそう。

1 毎時のまとめが動くから、イメージでわかる！

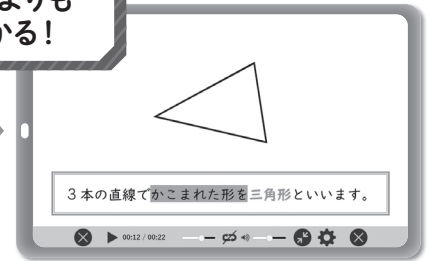
「まとめアニメーション」で、知識・技能のまとめを視覚的に表現しました。デジタルで、毎日の授業のまとめ方が変わります。



▲上p.120からリンク



文字だけよりも
断然わかる！

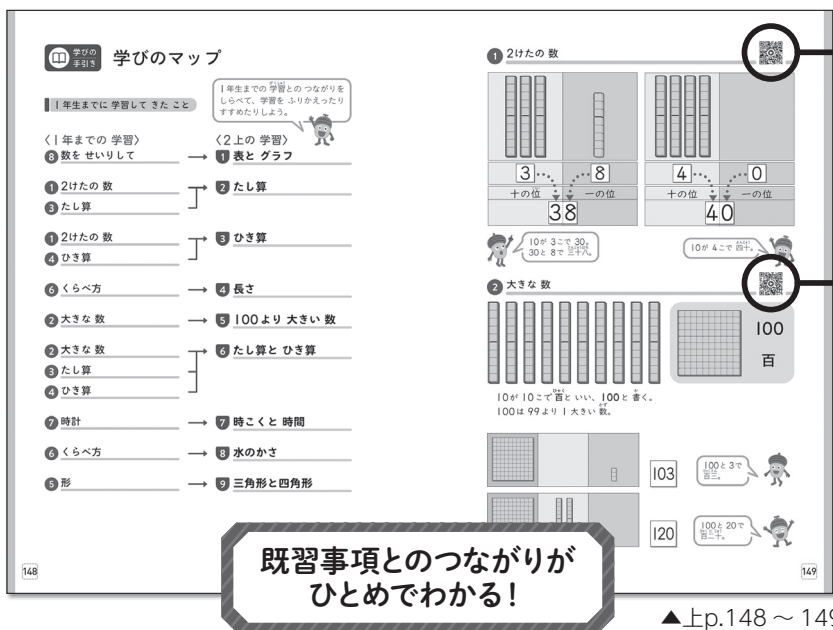


学習指導要領との対照表 p.1

デジタルコンテンツ「まなびリンク」

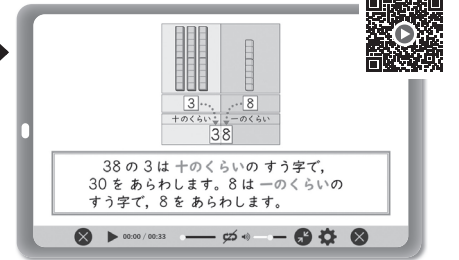
2 学年を超えた学び直しが、確かな学力を育てる！

巻末「学びのマップ」で、学年を超えて既習事項を振り返れるようにしました。わからない箇所があるときや、関連する内容を振り返りたいときにいつでも参照できるから、基礎・基本が定着します。

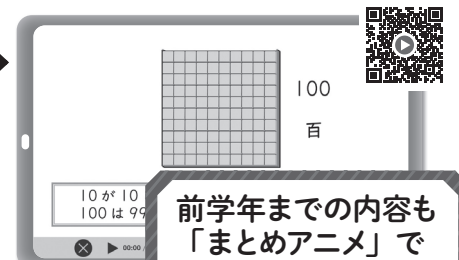


既習事項とのつながりが
ひとめでわかる！

▲上p.148～149



▲1年 2けたの数

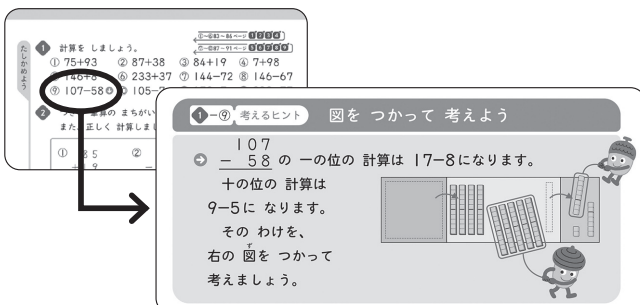


▲1年 百

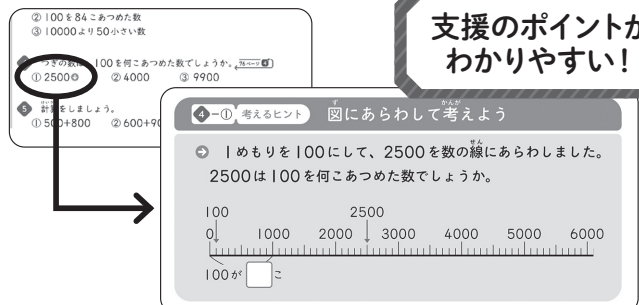
前学年までの内容も
「まとめアニメ」で
確認できる！

3 つまづきのポイントを丁寧に支援するから、学力が伸びる！

各種学力調査でつまづきがみられる問題に対して「考えるヒント」を掲載しました。単元ごとに、典型的なまちがいが起こりやすい問題をクローズアップするので、より丁寧な支援ができます。



▲上p.95



▲下p.82

支援のポイントが
わかりやすい！

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 表とグラフ	問題を発見し、生活経験や既習の学習をもとに解決しようとする活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	上 p.11 ~ 13
2 たし算	協働的に問題を解決したり、友だちのノートの書き方のいいところを見つけたりする活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	上 p.20 ~ 21、 上 p.30 ~ 31
3 ひき算	学習した見方・考え方をもとに新たな問題を発見し、追究しようとする活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	上 p.42 ~ 43
4 長さ	しおりを作って1年生にプレゼントする題材を通して、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。(第1号)	上 p.48
5 100より大きい数	全校集会や運動会の題材を通して、学校の組織・活動全体への関心を徐々に高め、主体的に社会の形成に参画する態度を養うようにしました。(第3号)	上 p.62、68
6 たし算とひき算	ミニトマトを収穫する題材を通して、生命や自然とのかかわりに関心が高まるようにしました。(第4号)	上 p.82
7 時こくと時間	夏休みの時間の使い方を考える活動を通して、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	上 p.102
8 水のかさ	暮らしの中で使う水のかさを紹介し、節水への意識を高め、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。(第4号)	上 p.115
9 三角形と四角形	身のまわりのものの形や、美しい模様への関心を高め、豊かな情操を培うようにしました。(第1号)	上 p.130 ~ 131
10 かけ算	九九の練習として、1人で練習する方法とともに、2人や3人で練習する方法も紹介し、自主及び自律の精神、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第2号、第3号)	下 p.26
11 かけ算九九づくり	協働的に問題を解決したり、友だちのノートの書き方のいいところを見つけたりする活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	下 p.42 ~ 45
12 長いものの長さ	自分で身のまわりのものの長さを調べ、長さの図鑑を作る活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	下 p.53
13 九九の表	九九表からきまりを見つけ、そのきまりがいつでも成り立つかどうかを探究する活動を通して、幅広い教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	下 p.58 ~ 65
14 はこの形	単元で学習した知識・技能をもとに、自分でさいころを作る活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	下 p.71
15 1000より大きい数	使わなくなった紙を再利用する題材を通して、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。(第4号)	下 p.73
16 図をつかって考えよう	求めた答えを、問題場面に戻して確かめるように意識づけることで、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	下 p.89
17 1を分けて	$\frac{1}{2}$ という数を学んだことを発展させて、 $\frac{1}{4}$ や $\frac{1}{8}$ という数を類推的に見いだす活動を通して、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	下 p.94 ~ 96
★ 算数をつかって考えよう	お手伝いの回数をグラフに記録する題材を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	下 p.102 ~ 103
巻頭・巻末	日本の伝統的な美意識に関心が高まるよう、千本桜、秋田竿燈まつりの写真を掲載し、伝統や文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしました。(第5号)	上・表 2・3 下・表 2・3

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○ESD・SDGsへの取り組み

- ・現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、子どもたち一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しました。

○人権教育・特別支援教育

- ・人権を尊重し、あらゆる差別をなくし、ジェンダーやLGBTQなどについても理解が深められるよう配慮しました。
- ・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しました。
- ・紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-137	小学校	算数	算数	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 218 算数 219	小学算数2上 小学算数2下		

1 編修上特に意を用いた点や特色

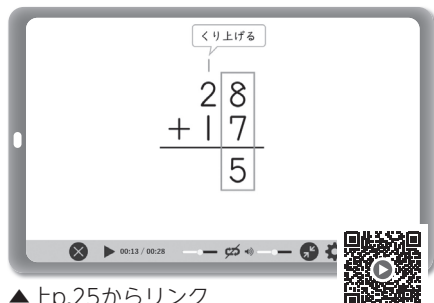
1 デジタルコンテンツ「まなびリンク」で、“もっとわかる・できる・納得する”

全591か所
(2年生用
87か所)

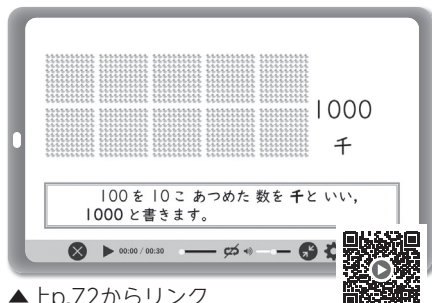


まとめアニメーション

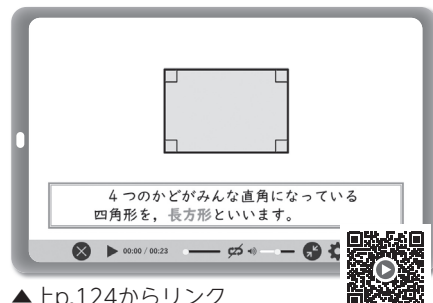
毎時の知識・技能まとめをアニメーションにして、文字だけでなく視覚的にも理解が深められるようにしました。



▲上p.25からリンク



▲上p.72からリンク



▲上p.124からリンク

作図や測定手順の動画・シミュレーション

自分のペースで繰り返し学べる作図・測定手順の動画や、試行錯誤的な操作が可能なシミュレーションも豊富に用意しました。

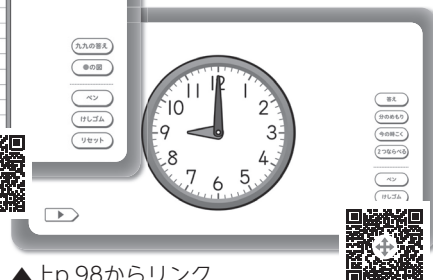


▲上p.147からリンク

左利き用も!



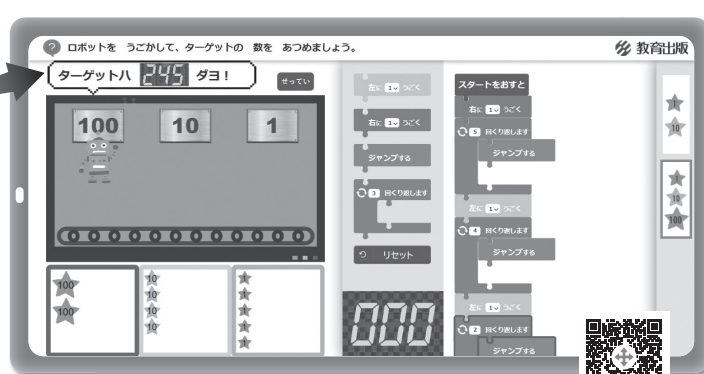
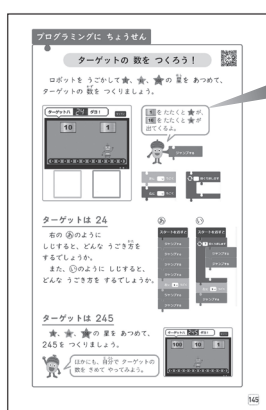
▲下p.27からリンク



▲上p.98からリンク

プログラミング教材

操作が簡単な独自開発のプログラミング教材により、プログラミング的思考に焦点化した授業を楽しく行えるようにしました。



▲上p.145からリンク

“見方・考え方のつながり”が見えるから、
算数が得意になる

つながるミカタ

各単元の見方・考え方を顕在化し、次の問題解決にもう一度活用することで、**学びの深まりを実感**できるようにしました。

つながる ④⑤⑥



は、わは
たし算の筆算では
位ごとに計算する
ことが大切だね。

かえて

一位の位に 10 のまとまりが
できたら、十の位に 1
くり上げるよ。



わお

だったの
! ?

あず あな からあ

ほかの 数でも 同じように 考えて できるかな。



ゆき



4434317 の筆算のしかたを
考えましょう。

	+	3	1

④⑤⑥ ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

5

4+27 の筆算のしかたを 考えましょう。

▶ どちらの 筆算の しかたが 正しいでしょう。



は

	+	27



こ

	+	27

位ごとに
計算するが、

単元のま

「ミカタに気づく⇒」

⑦ 筆算

⑧ ①

⑨

⑩

⑪

⑫

▲上p.26

つながる(つなぐ)


 長方形のとくちょうをしらべるときは、
 かどの形と辺の長さにも目ををつけよう。

つばさ

だったの
! ?
 ほかにも、みのまわりの形の
 とくちょうをしらべてみたいな。

はる

長方形の紙を、下のよう
 におって切り、おり紙のよう
 な四角形を作りましょう。


 →
 
 →
 

できた四角形のとくちょうをしらべましょう。

かのの形は、

**とまりで、
 繰り返る⇒また使う**

大先生

▲上p.126

つながら  アキ

は アキ 算数のミカタを広く

10や100のまとまりに目をつける、数が大きくな
これまでと同じ数の見方^{みかた}で考えることができた。

10が23こで230 ⇒ 100が23こで2300
340は10が34こ ⇒ 3400は100が34こ
70+50は10が7+5 ⇒ 700+500は100が7+5

算数のミカタ
2ページ

算算
見方だ

学びの
手引き

算数で さんすう つか

前学年までの
見方も…。

▲p.79

1年生で さんすう つかってき 算数のミカタ

ミカタ みかた 新しい あらた 計算のしかたを かんが 考えるときの かんが 見方

9+4 8+5

こ こ 答えが10を こ
はる はる こえそうなときは…。

・10のまとまりをつくる。
・10とあといくつとみる。

9+4=13 8+5=13
10 ③ 10 ③

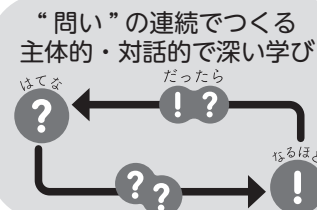
▲上p.4

3

自ら未来を創り出していくための
“問題発見力・解決力・追究力”を育てる

「学び方」を学ぶ3つのモデル单元

学年始めの単元１～３では、問題発見力・問題解決力・問題追究力の
3つの力に焦点をあてて、算数の学び方を身につけられるようにしました。

[illegible]

▲上p.11 ~ 13

[illegible][illegible]

かつづに 考えて みたい ことや、**詳しく** ともに
 見た ことを **話し合おう**。

10
 ほかにも いる いる 女
 子 も いる こと、ひきき
 を つくって みたいな。



読書タイム
 45分～1時間

11
 もっと 大きい 動物
 の しずや ひきき にも、
 ちょうせんしたいな。

72	125
+63	-43

読書タイム
 85分、1時間以上

プレゼン **12**
 自分 でも もんたい を つくって みよう。

82 ページ まで 本を、きのう までは
 46 ページ 読みました。
 今日は ☐ ページ 読みました。
 のこりは ☐ ページ でしょうか。



13
 自分で 考え
 出す とき
 思いこんで いる
 こと、自分の 得意し
 ている 得意な こと。

12月14日
 12月15日
12月16日
12月17日

自分で 考え
 出す とき

問題追究力モデル

① 45～16

③ 75～27

② 81～69

④ 62～47

エキスパート 先生

▲上p.42 ~ 43

つばさ

が あわせて □

が あわせて □

ほる

24 + 15 =

20 + 10 =

4 + 5 =

24 + 15 = □ 答え

2 つばささんは ほるさんの 筆えを
いいますよ。

ほるさんは、どうして
筆え 分けたのかを。

つばささんも
筆え 分けて いいますよ。

ほるさん、
24 + 15 = 39
を 覚えて いますよ。

ほるさんの 筆えを
アノキに 写して
覚えて いますよ。

24 + 15 =

20

4

10

5

が $2 + 1 = 3$

が $10 + 5 = 15$

24 + 15 の 3 は 1 が 3 になるから、
30 + 30 という数にしよう。



けん



けん

2人とも、10が 1 つずつ
1 が 1 つずつに分けて
ます。

④ 学習をよりかえりましょう。

1 2つの10を1つになっても、
10を2回に分けて数を考える、
11と12の10計算まででよい。



けん

2 ほかの数でも同じように
考えてできるかな。



けん

3 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。



けん

4 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。



けん

5 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。



けん

6 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。



けん

7 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。



けん

8 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

9 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

10 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

11 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

12 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

13 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

14 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

15 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

16 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

17 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

18 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

19 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

20 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

21 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

22 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

23 35 + 12 の計算のしかたを
せつ明しなよう。

けん

◀ 上p.20 ~ 21

問題解決力モデル

問いの深まりと
振り返りを重視

検討の観点と内容の特色



観 点	内容の特色	該当箇所
教育基本法、学習指導要領の遵守	▶ 教育基本法が掲げる教育の目的及び目標をふまえ、「問いつづけ、よりよいものを求めて改善しつづける子ども」の育成を目指して編修しました。 ▶ 学習指導要領に則り、その目標がよりよく実現されるように創意・工夫をしました。	全般 全般
主体的・対話的で深い学びの実現	▶ 子どもの問いの連続【はてな？→なるほど！→だったら!?】によって数学的活動を進められるようにしました。 ▶ 単元導入の【きっかけ】では、学ぶ意義を感じ、目的意識をもって取り組める教材や活動を工夫しました。 ▶ 【学びを深める問い??】で学び合いを焦点化し、対話的な学びをとおして見方・考え方を深めていけるようにしました。	上p.19～21等 上p.18等 上p.20等
基礎的・基本的な知識・技能の習得	▶ 毎時の知識・技能まとめに【まとめアニメーション】を設け、文字だけでなく視覚的にも理解が深められるようにしました。また、巻末の【学びのマップ】では、下学年の内容も【まとめアニメーション】で振り返ることができるようにしました。 ▶ 各種学力調査で課題がみられる内容には【考えるヒント】を設け、つまづきやすいポイントを意識化しました。	上p.120等 上p.149等 上p.95等
思考力・判断力・表現力の育成	▶ 単元の前半で見いだした数学的な見方・考え方を【つながるミカタ】で顕在化し、後半の学習で自ら活用していけるようにしました。さらに、【つながるミカタプラス】では、見方・考え方を領域を超えてつなぎ、算数のコツをつかめるようにしました。 ▶ 単元末【学んだことをつかおう】及び学年末【算数をつかって考えよう】では、学習したことを活用し、日常の事象を数理的にとらえて問題発見・解決する数学的活動を扱い、「何ができるようになったか」を実感できるようにしました。	上p.110等 下p.79 上p.29等 下p.102～103
学びに向かう力、人間性等の涵養	▶ 問題発見力・問題解決力・問題追究力の3つの力に焦点をあてたモデル単元をそれぞれ設定し、よりよい未来を切り拓くための資質・能力の育成を目指しました。 ▶ 新学年の始めに、【授業開き教材】を用意し、問題解決の楽しさを味わいながら、学習の進め方や学ぶ態度を学級で共有できるようにしました。	上p.11～13 上p.19～21 上p.42～43 上p.7～9
ICTの活用	▶ 無償で使えるデジタルコンテンツ【まなびリンク】では、まとめアニメーションや作図手順の動画、試行錯誤的な操作が可能なシミュレーションを豊富に設けました。 ▶ 操作が簡単な独自開発のプログラミング教材により、「プログラミング的思考」に焦点化した授業が行えるようにしました。	 上p.145
体験的活動の重視	▶ 計算のしかたを考え説明したり、図形の性質を見いだしたりする場面などでは、具体的な体験によって学ぶ活動（ハンズオン）を重視しました。	上p.130等 下p.56等
言語活動の充実	▶ 【算数でつかいたい見方・考え方】では、子どもの言葉で数学的な見方・考え方を表現し、それらの言葉を使って学び合えるようにしました。	上p.4～5
学年間の系統性への配慮	▶ 単元導入などでは、既習事項との関連を図りながら学習内容を広げていけるようにしました。 ▶ 巻末【学びのマップ】には既習事項の一覧を掲載し、関連する内容を適宜確認できるようにしました。	下p.48等 上p.148～151等

観 点	内容の特色	該当箇所
他教科等との関連	▶ ミニトマトを育てる活動や夏休みの生活時間を考える活動など、教科横断的に取り組める教材を設けました。 ▶ 道徳科との関連を図り、巻末に【自分で取り組むページ】を設け、自律的な学習態度や学習習慣が形成されるようにしました。また、友だちのノートのよいところを見つける活動を設け、お互いのよさを認め合う心を育てるようにしました。	上p.82、102等 上p.135等 上p.30～31等
現代的な諸課題への対応	▶ 節水について考える話題を掲載するなど、環境保全への関心が高められるようにしました。 ▶ お手伝いをする場面を題材にするなど、勤労についての意識が高められるようにしました。	上p.115等 下p.102等
個に応じた学習、少人数指導	▶ 巻末の練習問題【ステップアップ算数】は、「きほんのもんだい」と「ジャンプもんだい」に分けて、習熟度に応じて練習問題の量を調整できるようにしました。 ▶ 【コラム】及び【算数ひろば・もっとやってみよう・よくあるまちがい】では、学習の進度に応じて扱える問題や話題を用意しました。	上p.136～142等 上p.46、51、113等
特別支援教育・ユニバーサルデザインへの配慮	▶ 専門家の監修のもと、カラーユニバーサルデザインに配慮しました。 ▶ ロービジョン（弱視）やディスレクシア（読み書き障がい）に配慮した「UD デジタル教科書体」を採用しました。 ▶ 読みやすい改行や、余白を生かしたレイアウトなど、落ち着いて学べる紙面づくりに配慮しました。また、デジタル教科書や拡大教科書を用意し、多様なニーズに対応できるようにします。	全般 全般 全般
表記・表現	▶ 文章は平易で簡潔、かつ理解しやすいように配慮しました。 ▶ 教材選定や場面の表現では、言葉遣いや服の色など、固定的なイメージで性の区別をしないようにするなど、多様性や人権について十分に配慮しました。	全般 全般
配列・分量	▶ 系統性や習熟期間などを考慮し、最適な学習効果が得られる単元配列を工夫しました。 ▶ 基礎・基本の内容と、選択的な内容を分け、標準時数の中で無理なく習得することができるようにするとともに、単元の学習や家庭学習において、定着のために十分な分量の問題を用意しました。	全般 全般
印刷・造本	▶ 紙の強度を維持しつつ、軽量の紙を使用することで児童の身体的な負担に配慮しました。 ▶ 環境やアレルギーなどに配慮し、再生紙と植物油インキを使用しました。また、表紙には抗菌加工をしました。	全般 全般
創意・工夫	▶ 「学びやすさ」の観点から、算数の学び方を身につけられるように工夫しました。また、「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の両面で、デジタルコンテンツを有効に活用して理解を深められるようにしました。 ▶ 「授業のしやすさ」の観点から、問題解決型の授業の流れに沿った学習展開で構成するとともに、指導内容や見方・考え方の系統性がわかりやすくなるように工夫しました。また、主体的な学びのきっかけをつくる導入活動や、ねらいにせまる発問、対話的な学びを促す発問などがわかりやすくなるように工夫しました。 ▶ 「学力向上」の観点から、習熟の機会を豊富に設けるとともに、各種学力調査等で課題がみられる基礎・基本の問題を意図的に取り上げ、丁寧な支援ができるように工夫しました。また、全国学力・学習状況調査をふまえ、読解力・表現力等を育成する問題を扱いました。 ▶ 「算数好きを増やす」観点から、自ら考えたり、友だちと学んだりする楽しさを味わえるように工夫しました。また、子どもたちの興味・関心を高める教材を豊富に用意しました。	全般 全般 全般 全般

2 対照表

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
上	★ ココアはいくつ	指3(2)(3)(4)(5)	p.11~16	2
	1 表とグラフ	D(1)ア(ア)イ(ア)	p.10~14	4
	2 たし算	A(2)ア(ア)ウ(イ)内(3)	p.18~33	9
	3 ひき算	A(2)ア(ア)ウ(エ)イ(ア)	p.34~47	9
	4 長さ	C(1)ア(ア)イ(イ)イ(ア)	p.48~61	8
	5 100より大きい数	A(1)ア(ア)イ(ウ)イ(ア) A(2)ア(イ)	p.62~77	10
	★ たし算とひき算の図	A(2)ア(エ)内(2)	p.78~81	2
	6 たし算とひき算	A(2)ア(ア)イ(ウ)イ(ア)内(2)(3)	p.82~95	9
	■ 何人いるかな	A(2)イ(ア)	p.96	1
	7 時こくと時間	C(2)ア(ア)イ(ア)	p.97~103	4
	■ 筆算をつくろう	A(2)ア(ア)	p.104	1
	8 水のかさ	C(1)ア(ア)イ(イ)イ(ア)	p.106~116	7
	■ ロボットレース	B(1)ア(ア)	p.117	1
	9 三角形と四角形	B(1)ア(ア)イ(イ)イ(ア)内(5)	p.118~133	9
	■ タングラム	B(1)ア(ア)イ(ア)	p.134	1
下	10 かけ算	A(1)ア(エ) A(3)ア(ア)イ(ウ)エ(イ)イ(ア)イ(イ)	p.4~23	20
	■ 九九であそぼう	A(3)ア(エ)	p.24~26	2
	11 かけ算九九づくり	A(1)ア(エ) A(3)ア(ア)イ(ウ)エ(イ)イ(ア)イ(イ)	p.27~46	18
	■ 九九ジグソーパズル	A(3)ア(エ)	p.47	1
	12 長いものの長さ	C(1)ア(ア)イ(イ)イ(ア)	p.48~54	5
	■ 数をあらわそう	A(1)ア(エ)	p.56~57	1
	13 九九の表	A(3)ア(ウ)オ(イ)イ(ア)内(4)	p.58~66	6
	14 はこの形	B(1)ア(ウ)イ(ア)	p.67~70,72	4
	15 1000より大きい数	A(1)ア(ア)イ(ウ)オ(イ)イ(ア) A(2)ア(イ)内(1)	p.73~82	7
	■ 数のめいろ	A(1)ア(エ)	p.83	1
	16 図をつかって考えよう	A(2)ア(エ)	p.85~91	5
	17 1を分けて	A(1)ア(カ)	p.92~99	6
	■ お楽しみ会で算数	A(2)ア(ア)エ(エ) A(3)ア(イ)エ(エ)	p.100~101	1
	★ 算数をつかって考えよう	A(3)アイ D(1)アイ 指2(1)	p.102~103	1
	◎ 2年のまとめ	指1(2)	p.104~107	4

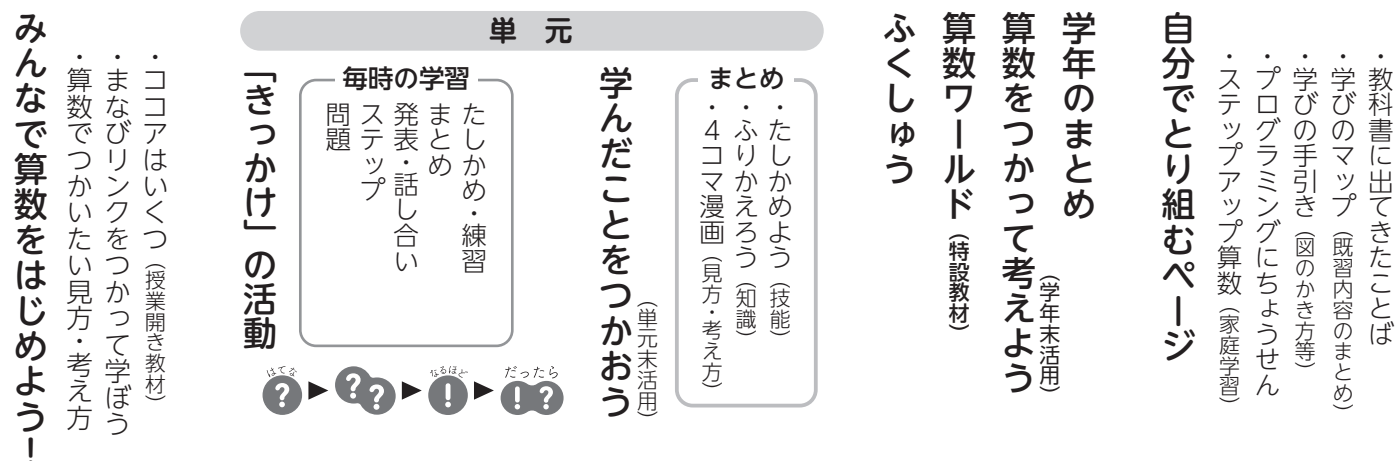
※内：内容の取扱い

(予備時数 16時間)

計 159

※指：第3 指導計画の作成と内容の取扱い

教科書の構成



編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-137	小学校	算数	算数	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 218 算数 219	小学算数 2 上 小学算数 2 下		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
上 68	算数ひろば	1	A(1)ア(イ) 4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について理解すること。 上記に関連して、「数直線」という名称を知り、数の表し方及び数の大小や順序についての理解を深める。	0.25
上 121	算数ひろば	1	B(1)ア(ア) 三角形、四角形について知ること。 上記に関連して、5本の直線で囲まれた形を、五角形ということを知る。	0.25
下 65	もっとやってみよう	1	A(3)ア(オ) 簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知ること。 上記に関連して、乗数が1増えれば積は被乗数分だけ増えるなどの乗法の性質をもとに、答えの求め方を考え、乗法の計算についての理解を深める。	0.25
下 71	学んだことをつかおう	1	B(1)イ(ア) 箱の形をしたものについて知ること。 上記に関連して、さいころを切り開いた形や、また、その目の位置を考えることを通して、箱の形の理解を深める。	1
下 79	◇ 10 ③ 1200 - 500	1	A(2)ア(イ) 簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を知ること。 上記に関連して、1200 - 500の計算の仕方を、百を単位とした数の見方に関連させ、12 - 5を基にして考えることで、計算のしくみの理解を深める。	0.1
下 103	葉 2	1	D(1)イ(ア) データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察すること。 上記に関連して、1週間のお手伝いの回数を表したグラフから、回数の合計を求め、グラフの読み取りについて理解を深める。	0.5
合 計				2.35

(「類型」欄の分類について)

- 1 …学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2 …学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容